



第43号

平成29年11月30日発行

公益財団法人日野市環境緑化協会

〒191-0016 日野市神明2-13-1

☎042-585-4740

http://www.hinoryokka.org/



# 緑のまち

おもしろ

## 公園名かるた

(公園名の由来は2ページをご覧ください)



理事長あいさつ



尾崎 義昭

日野市内の公園や雑木林や街路樹の木々も紅葉の季節となり、秋から冬支度へと移り変わりを感じる季節となりました。

公益財団法人日野市環境緑化協会は、日野市における都市環境の向上を図るため、都市の緑化を推進し、緑と清流を守り、うるおい豊かな都市づくりに寄与することを目的としている公益財団法人です。

緑化協会が行っている事業としては、花壇植付けボランティア団体の募集、花の交流広場、庭木の手入れ講習会、菊花コンテスト、緑の写真展、稲わら・竹細工講習会、市内の落ち葉の腐葉土・肥料の販売、市内公共施設への花の植付け、市内公園管理などを行っております。

この「緑のまち」では、当協会の事業を紹介させていただきました。日野市の緑がうるおい、豊かな都市へと発展することを職員一同引き続き目指してまいります。

むすびに、市民の皆さまからの当協会へのご協力に、書面をお借りしまして御礼申し上げます。

## 平成28年度 決算

収	基本財産運用益	277,122円
	事業収益	22,734,100円
	受取補助金等	22,802,051円
益	受取寄付金	300,494円
	雑収益	83円
経常収益計		46,113,850円
費用	事業費	40,926,334円
	管理費	5,194,093円
経常費用計		46,120,427円

## 平成29年度 予算

収	基本財産運用益	280,000円
	事業収益	22,720,000円
	受取補助金等	22,875,000円
益	受取寄付金	20,000円
	雑収益	2,000円
経常収益計		45,897,000円
費用	事業費	40,739,823円
	管理費	5,157,177円
経常費用計		45,897,000円

「事業計画書・予算書」「事業報告書・決算書」については、緑化協会HPをご覧ください。緑化協会事務所に備え付けてありますのでお気軽にお越し下さい。

## 腐葉土・肥料 販売

緑化協会職員が公園の落ち葉を利用して作った腐葉土は、放射性物質検査を行い販売しています。また(有機)乾燥肥料や(化成)固形肥料も販売していますので、是非ご利用下さい。



〈販売場所・時間〉 緑化協会事務所：平日 8:30～17:15

〈価格〉 腐葉土 …………… 400円 (20ℓ)、100円 (4ℓ)  
 乾燥肥料 …………… 100円 (400g)  
 固形肥料 …………… 30円 (160g)

\*数に限りがあるので、1回の購入には数量制限があります。ご理解とご協力をお願いします。

## 緑の募金

今年も4月～5月を強化月間として取り組んだ「緑の募金」に、たくさんの御理解と御協力をいただきました。

お預かりした募金は東京緑化推進委員会に納入して森林整備等の事業に使用されるほか、一部は当協会にも還元されて、市内の花壇に四季の花々を植え付けるなど、多くの場面で役立っています。

皆さまの御協力ありがとうございました。

平成29年度募金総額 (9月末現在)

**1,539,442円**

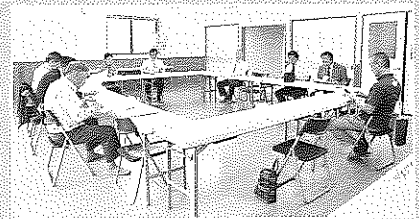


## 役員名簿

理事長	尾崎 義昭
副理事長	国分 知子
常務理事	坂田 勉
理事	榎本 数隆
理事	志村 進一
理事	宗 昌枝
理事	小笠 俊樹
理事	石坂 昌子
監事	三浦 盛好
監事	渡辺 良勝

(順不同)

\*平成29年6月改選



## 表紙のはなし

.....公園名の由来について.....

### よそう森公園

新町 3-10-45 面積：2,521㎡

昭和30年代まで、現在の都道169号線沿いに小高い丘と杉林があり、そこには稲荷さまが祀られていました。地域の人々は、その祠の前でその年の米の収穫高を予想したところから、この丘と林を「よそう森」と呼んでいました。都道拡張の際、林は伐採され、祠は移動されました。

### ちょうまんぴら公園

百草 971-127 面積：1,855㎡

寒い北国を避けて渡ってくる「つぐみ」を土地の言葉で「ちょうまん」と言います。「ちょうまんぴら」は、「ちょうまん」が棲みついた「たいら(平)」な土地の意味です。かつてはたくさんのつぐみが、秋の終わりごろからこのあたりの雑木林に棲みついて冬を過ごしました。

### そりめ公園

東平山 3-18-46 面積：255㎡

このあたりの土地は、畑を耕す人々から「そりめ」と呼ばれてきました。地形的にこのあたりが周辺の土地より幾分そり曲がり気味に高かったからとも、昔、休耕中の焼き畑を「そり」「そりうり」「そらし畑」と呼んできたことが由来とされています。

\*この「かるた」は実在しません\*

# 平成29年度事業実績（その1）

## 緑のリサイクル

ご家庭で増えすぎた植物をご提供いただき、4月22日（土）イベント当日に集まった皆さまに配布しました。今年は、約169種964点もの植物をご提供いただき、ありがとうございました。

## 子ども昆虫教室

夏休み直前の7月15日（土）、市内小学生を対象に実施しました。標本鑑賞をしたり、生きた珍しい昆虫に触れたりしました。後半は、日野中央公園に昆虫採集に出かけ、夏の楽しい思い出となりました。

## 菊の育て方講習会

日野市菊友会より講師を迎え、7月20日（木）「大菊の育て方講習会」と8月3日（木）「ポットマム・スプレー菊の育て方講習会」を開催しました。苗の植付け方から水やり、病害虫の予防法など詳しく教えていただきました。

## 菊苗の無料配布

日野市の花である「菊」の普及と、秋に開催する「菊花コンテスト」に参加していただくため、一般市民、老人クラブ、市内小中学校など合計約8,500本の菊苗を無料配布しました。

## 庭木の手入れ講習会

10月5日（木）日野緑進会より講師を迎え、庭木の手入れの基本や剪定の仕方など教えていただきました。後半は、日野中央公園の都市緑化見本園での剪定実演も行いました。

## 平成29年度 今後の事業予定

※写真は昨年度のもの

### 緑の写真展

日野市内でお気に入りの風景やご紹介したいスポット、ご自宅できれいに咲いたお花などの写真を出展しませんか？

テーマ①「日野の四季」②「わが家の緑」

募集期間：平成29年11月6日（月）～12月8日（金）

募集詳細：広報ひの11月1日号

展示期間：平成29年12月15日（金）  
～12月25日（月）

展示場所：日野市役所1階  
市民ホール

展示詳細：広報ひの12月1日号



### 稲わら・竹細工講習会

自然素材の稲わらや竹を使い、お正月用の門松を作る講習会です。手作りのミニ門松をお正月に飾ってみませんか？

開催日：平成29年12月14日（木）

※詳細は広報ひの  
12月1日号掲載

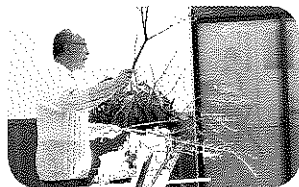


### 春の草花・家庭果樹の管理講習会

開催予定日：平成30年2月1日（木）

春を迎える前に、草花の管理や、果樹の剪定のコツなど学んでみませんか？

※詳細は広報ひの  
1月15日号掲載予定

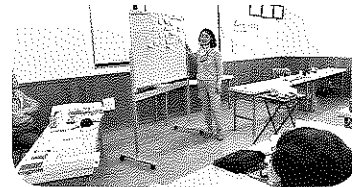


### ガーデニング講習会

開催予定日：平成30年3月8日（木）

ガーデニングの疑問  
点はここで解消！

※詳細は広報ひの  
2月15日号掲載予定



### スプリングフェスタひの

開催予定日：平成30年3月下旬

市民参加の春のイベントとして実行委員会と共催で行います。当日は吹奏楽やダンス等のステージ演目や、市内商工業者等による多数の模擬店があり、花苗の無料配布も予定しています。小さな子どもからお年寄りまで家族揃って楽しめる催しです。

※詳細は広報ひの3月15日号掲載予定



※詳しくは、いずれも緑化協会ホームページをご覧ください。(http://www.hinoryokka.org/)

# 第13回 ガーデニングコンテスト

## 日野市長賞



石井 幸子 様  
「ナチュラルキッチンガーデン」

## 日野市議会議長賞



豊田 直子 様  
「思い出と感謝の庭」

初夏のさわやかな風がバラの甘い香りを運んでくる季節にガーデニングコンテストを実施しました。  
今年、まるでお花のテーマパークのようなお庭や小さな森のようなお庭など、個性的な作品にも出会えました。  
来年度も、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

## 緑化協会理事長賞



川真田 みどり 様  
「バラと宿根草の庭」

## 審査員特別賞



杉本 ふゆき 様  
「狭いながらも癒しの庭」

## 写真展

5月23日～6月6日

日野市役所1階市民ホールにて、応募作品の写真展を行い、多くの皆様に鑑賞していただく事ができました。



# 菊花コンテスト



## 展示期間

10月31日(火)～  
11月9日(木)



市民一般の部 日野市長賞



小学校の部 日野市長賞



老人クラブの部 日野市長賞

## 平成29年配布苗菊花コンテスト受賞者一覧 (敬称略)

賞名	市民一般の部			老人クラブの部		小学生の部
	ポットマムの部	スプレー菊の部	大菊の部	P・S菊の部	大菊の部	
日野市長賞	天野 正次	菊地 邦雄	小島 悦子	悠悠クラブ	悠悠クラブ	日野第六小学校
日野市議会議長賞	増澤 征枝	川面 友子		新町青葉クラブ	新町青葉クラブ	日野第一小学校
日野市教育委員会委員長賞						潤徳小学校
(公財)日野市環境緑化協会理事長賞	菊地 邦雄	小林 治郎	阿川 勝弥	豊寿会		豊田小学校
日野市老人クラブ連合会会長賞				親和会		
日野市菊友会会長賞	植木 平治	小島 長蔵				
東京南農業協同組合代表理事組合賞	旗野美智子	田中 弘		桜の会		

夏に一般市民、老人クラブ、小学校に配布した小さな菊苗が、秋にきれいな花を咲かせて帰ってきました。  
右表の入賞された方々を、11月9日に煉瓦ホールで表彰しました。



# ガーデニング講座 ～病害虫編～

パート2

『この虫なあに。。。？ これって病気。。。？』



昨年度発行しました第42号の「緑のまち」で、病害虫編を掲載しましたが、皆さんにもっとたくさん知って頂きたいという思いから、今年度も同じテーマ『病害虫編パート2！』と題しまして、ご紹介いたします。

楽しいガーデニングや野菜作りですが、突然の病害虫の症状に悩まされることがありますよね！病害虫は日頃の管理や観察である程度防ぐことができます。深刻な症状になって慌てて薬剤を散布するより、被害が小さいうちにまわりに広がらないようにすることが大切です。

※殺菌・殺虫剤を使って病害虫駆除する場合には、幼い子どもや老人、ペット類のいる場所での散布は避けましょう。

病害虫	さび病	疫病（じゃがいも）	モザイク病	ハムシ	スズメガ
被害の症状	野菜・草花・果樹・庭木など多くの植物の葉、茎、果実に発生。春と秋の雨の時期に多発しやすい。葉裏に黄白色の斑点が生じる。病斑が多発生すると、葉表にも病斑がきたり、葉や茎などの形がゆがみ、枯れる。	葉、果実、茎などに水が染みたくような灰緑色や暗褐色の病斑が生じる。多湿な環境では、病斑は急激に広がり、白い霧状のカビが生じ、腐ったり枯れたりする。	野菜、草花、庭木など多くの植物に発生し、最初は先端に近い新葉に、薄い緑色の斑点がきたり、葉脈に沿って緑色が薄くなったり、やがて、濃淡の斑模様であるモザイクが生じる。徐々に広がり、葉の縮れや変形が生じる。	ハムシ類は、成虫の背中が硬い甲虫の仲間、広範囲の植物に寄生。多数寄生すると、葉や根が著しく被害され、植物の生育が悪くなる。特に根を被害されると、株はしおれ、ひどい場合は枯れる。野菜は品質が悪くなり、収穫量が減る。庭木の草花は鑑賞価値が下がる。	若い幼虫のうちは、被害がわずかで目立たない。成熟するにつれて食欲が旺盛になり、短期間に周辺の葉を枝や茎だけにするまで食べつくし、体が急激に大きくなる。そのため、気が付くのが遅れて野菜果樹の収穫が落ち、庭木や草花の鑑賞価値も下がる。
画像					
対処法	①植物の生育に支障がない範囲で発病した葉などを見つけて摘み取り、土中埋めるなどの処置をする②適用のある薬剤がある植物で、殺菌剤を使用する場合は、確実な効果を得るため発病初期に葉裏にかかると薬剤をていねいに散布することが肝要である	①土壌湿度が高い場合は高畝にしビニールマルチなどを行う②発病しやすい植物、発病したところのある場所での連作を避ける③水やりは株元に最小限にする④雨よけをし発病を減らす⑤発病した枝葉や果実は切除する⑥地際部が発病した株は周囲の土とともに取り除く	①健全な苗や鉢植えの入手や、抵抗性品種の利用が大切②病気がかかった株の球根を植えたり、株分けや挿し木は避ける③アブラムシ類の寄生を防ぐため、寒冷紗などで植物を覆う④秋まきの野菜や草花は種まきの時期を遅らせる⑤発病した株はすぐに抜き取り処分する	①見つけやすい成虫を、動きが鈍い朝方や気温が低い時間帯に探して捕まえる②葉を食べる幼虫を見つけたら、払い落して捕殺したり、葉ごと摘み取り処分する③野菜などは周辺の土を銀色のポリエチレンフィルムで覆うと成虫の飛来を少なくできる	①飛行する成虫を見つけたらまず調べ、産み付けられた卵がついた葉を処分②株元の地上や葉の上に、粒上の糞が散らばっていたら、葉裏などを探して幼虫を捕殺する③薬剤を使用する場合、成熟幼虫には防除効果が劣るため、幼虫が小さいうちに散布する
害虫	ヒメシロモンドクガ	カイガラムシ	イラガムシ	ゾウムシ	カミキリムシ
被害の症状	大量発生はしないが、7～8月、9月～10月に大豆やインゲンマメの葉、マメ科牧草を食害する。リンゴ・梨・梅・すももにも発生し、実をえぐるように食害。東北以南で卵で越冬し、年2～3回発生する。幼虫は大きくなると約30mmにもなる。	庭木、果樹の他、観葉植物、洋ラン、サボテンなどに寄生。種類が多く、種類によって体形や習性が違う。寄生した植物の幹、枝、葉などの汁を吸うため、株の育成が悪くなり、被害が大きい場合は枯れてしまう。また、カイガラムシの排泄物にすす病が発生することもある。	イラガは多くの種類がある。幼虫のうちは毒があり、皮膚に触れると激しい痛みを感じるため、注意が必要。若い幼虫は葉裏から表皮を残して食べるため、被害部分は白い斑点や白い透けた状態に見える。成長した幼虫は葉全体を食べるので、大量発生すると葉がほとんどなくなり、樹木の生育が悪くなる。	日本で1000種類以上の種類があり、多くのゾウムシの仲間が植物に被害を与える。4月中～下旬に成虫が出現し、新芽やつぼみ、果実の基部を傷つけ産卵するため枯死する。ヤサイゾウムシは10月頃に地中から這い出し、冬の草花・野菜に産卵し、ふ化した幼虫が新葉を食害する。	5～11月の間に1～2回発生。成虫が飛び交う時期のピークは5～7月。草花や樹木など全ての植物が被害にあう。成虫があごで茎や枝、幹を食べる中に侵入し、卵を産みつける。穴を開けられた植物は弱って枯れてしまうだけでなく、1～2年かけて植物を食べ続けることから、寄生に気づかず、手遅れになることも……。
画像					
対処法	①落葉期に卵をみつけ、取り除いて駆除する②卵は菌をくるんでいる枯れ葉の表面に産み付けられるので、枯れ葉をみつけ取り除く※菌についている毛が皮膚に刺さることがあるので、ゴム手袋をした方がよい③発生後すぐに捕殺すれば防除は間に合う	①購入の際にカイガラムシのついていないものを選ぶ②枝が混んで通風が悪いと多発しやすいので、剪定を適切に行う③冬に枝や幹についた虫はハブラシでこすり落とす④薬剤で防除する場合、幼虫のふ化直後の時期に薬液を散布することが肝要。また、虫が休眠する冬に、植物の休眠期用の薬剤を幹や枝に散布し、翌春からの発生を予防するのも有効	①幼虫がいる初夏から秋は葉の食害痕の発生に注意し、見つけ次第幼虫がいる葉や枝ごと切り取り、すぐ処分。捕殺作業はゴム手袋をはめるなどして、素手で絶対触らないようにする②冬は枝や幹についた菌を探して取り除く③適用のある薬剤がある植物で薬剤を使用の際は幼虫が小さいうちに散布する	①姿が小さく見つけにくい、朝夕の活動が鈍い時間帯に探し、見つけ次第捕殺する②ゾウムシにより被害の兆候が現れた場合、躊躇なく殺虫剤を散布することが正しい駆除方法となる③多数が飛んでくるような時は薬剤による防除は困難である④豆類に被害が発生した場合は、既に収穫した物の中にゾウムシが潜んでいる可能性があるため注意が必要である	①カミキリムシ用の薬剤を定期的に散布②発生しやすい時期に防ネットなどで覆い、成虫の侵入を防ぐ③弱った植物に寄生しやすいので、土作りをしっかり行い、肥料を適度に与える④食べられた穴を見つけたら、スプレーや液体の殺虫剤を穴に入れて駆除する⑤穴から針金を入れて突き刺す⑥木酢液に浸した綿を詰める⑦食害された枝や茎は回復しないので取り除く

(引用文献)「みんなの趣味の園芸」NHK出版

## 日野の花壇・プランターのご紹介

「緑あふれるうるおい豊かな日野市」をめざしています!

### 市民の森スポーツ公園!



陸上競技場  
フラッグポール前 (秋花壇)

### 玄関前花壇 (夏花壇)



## 市民ボランティア募集中!

お花に興味がある方、日野市内の公園等の植付けにご協力頂けませんか?

緑化協会では季節ごとに公園や駅など沢山の公共施設の花壇やプランターにお花を植付けしています。植付けや水やり、草取りのお手伝いをして下さる方をお待ちしております。花卉は緑化協会でご支給します。植付け場所や時期などお気軽にご相談ください!!



☎ 585-4740

# 作文集「緑のまち」

市内の小学四年生と六年生を対象に募集した作文に二、三六九名の児童から応募がありました。

この中から今年も七名の審査委員により入選作  
一〇編が選ばれ、カット五九作品と共に作文集を發行します。ここでは優秀賞の中から三作品と審査委員長の講評を掲載します。

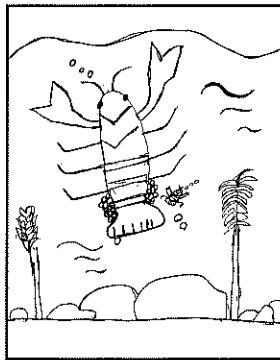
## 自然は命の宝箱

日野第四小学校

四年三組 中島 悠愛

この間学校で行った、多ま川のゴミひろい。私は出発するまで、「いやだな。」と思っていました。クラスみんなは、うれしそうにしているのに、なぜでしょう。よく考えた結果ようやく今、分かりました。その時私は「どうせきたなすぎるから、やってもむだだ。」と、勝手に思いこんでいたのです。けれど、

実さいに川へ行き、ゴミひろいを始めたら、考えが変わりました。想像していたよりも、きれいでびっくりしました。それと同時に、地いきの人たちも、きれいな川や自然を保つために努力しているんだな、とうれしくなりました。そして、ふと川の中を見てみると、魚がいました。その時、父の話や下水道キャラバンの授業で言っていたことを思い出しました。「昔は生活はいい水などを、そのまま流していて魚が住めるじょうきようではなかったんだ。」それを聞いて、私は少し悲しくなりました。なぜなら、近所の用水路で見つけて、少し前までかっていたザリ



ガニのことを思い出したからです。二ひきいるうちの一ひきがたまごをうみ、それを一生けん命守っているのを見て、自然は命がたくさん育っていくところだと思い、感動しました。そんなたくさんの命がある川に、ゴミをすてるなんてひどいと強く感じ、自分はぜつたいにそんなことはしないようにしようと思いました。そのことをきつかけに、何をすれば自然を守るかを一人一人が考えることが大切だと感じました。みんながそれを、意識きすること、大きな力となり、今よりも川がきれいになり、自然がふえると思います。私は日野市が好きです。緑もたくさんあり、川もきれいで自然ゆたかな場所だと思っております。市みんながもつと努力して、今よりすてきな町になったら、私はこの日野市がもつと好きになると思います。

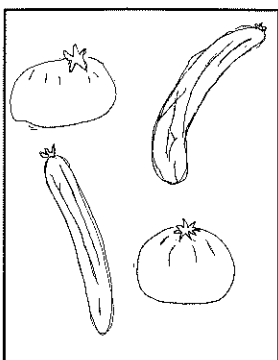
## 日野市の直売所の野菜

日野第一小学校

六年二組 和知 まひろ

私のお父さんは、いつも夏になると直売所でも新鮮でおいしい夏野菜を沢山買ってきてくれます。

直売所で売っている野菜の中に、少し形の悪いトマト、少し曲がっているキュウリがあります。ふつうのトマトや、キュウリとは味は、変わらないのですが直売所に来るお客さん達は、きれいな形のしたトマトやキュウリしか、買ってくれません。そのため私の、お父さんが曲がったキュウリ、形の悪いトマトを買おうとすると直売所の方は、いつもいつもおまけをしてくれます。私は、味は変わらないし、新鮮なのになんで形のいいキュウリ、トマトしか買ってくれないのだろうと思います。だってもし、曲がったキュウリや形の悪いトマトを買う人がいなかったら、せつかく一生懸命育ててくれたのに野菜を捨てる事になってしまいます。それは、野菜を育ててくれている人にも悪いし、一生懸命育ててくれた野菜にも悪いと思います。



作ってくれた人は、悲しいと思います。だから私は、いくら形の悪いキュウリやトマトがあっても、「こっちの方が形がいいからこっちの野菜を買おう。」という多くの人の気持ちをなくしてほしいです。いくら形が悪くても、一人一人の農家さんが一生懸命作ってくれていることは、変わらないので、「なんだこの野菜」と思わないで「あ、一生懸命作ってるんだなあ。」とあたたかい気持ちで受けとめてほしいです。

緑の自然が他の地よりも多いのが、日野の自慢の一つだと思います。私の家では、ゴミを少しでも減らし緑を少しでも、多くしようとしてスイカの白い甘い部分、塩水につけておしんこにしたり、人参の葉は捨てずに天ぷらにしたりしています。普段頑張って野菜を育てている農家さんに、お金を払う事しか出来ませんがゴミを少なく食べる事は私達から出来る最低限の感謝だと思います。

# 日野市の二員と一つ 取り組むべきこと

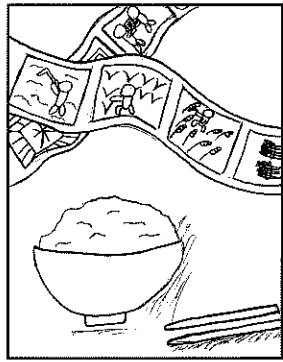
豊田小学校

六年四組 渥美 颯介

僕は、学校の給食が好きだ。その給食には僕の住んでいる日野市の食材が多く使われている。僕はこれらの日野産食材を大切にしていくなきゃだと思ふ。なぜなら生産者の方々のたくさんの方々の苦労と意思が詰まっているからだ。

僕が三、四年生の総合的な学習の時間に、農家でお手伝いをする機会があった。この体験から、普段食べている野菜ができてきたまでの大変さ、当たり前に見える野菜がたまたま、そしてそれらは作って下さる生産者の方々のおかげであることを改めて実感した。しかし、近年、農家戸数や生産者数が年々減少していることを日野市のホームページを見て知った。それは農地だったところが別の目的で利用されるようになったり、農家の仕事に就く若い人が減り、生産者の減少、高齢化につながっていると考えられる。日野市の生産者支援の取り組みとして、日常生活の中で僕にも何かできることはないか考えてみた。学

校給食で日野産の食材利用率が年々上がってきているように、家でも日野産食材をもっと積極的に取り入れることが重要ではないかと思ふ。具体的な方法として、日野産の野菜などを販売する直売所の利用がある。市内には個人の庭先販売も含め、いくつもの直売所があり、ここではとれたての新鮮な野菜を安く買うことができる。消費者が近くにいるので輸送にかかるエネルギー、時間、費用が削減できるのだ。また直売所ではスーパーなどでは見かけない珍しい野菜に出会えることもある。季節ごとに販売されている野菜から旬を知ることでも、「食」への関心も高まる。このように地産地消を自ら進んで実行し、みんなに伝えることが僕にもできる身近な取り組みではないかと思ふ。



僕は、今後、普段何気なく食べている様々な食材の食たくにとどくまでの過程を意識しながら大切に味わえるよう心がけていきたい。

# 先人から引き継いだ宝物

審査委員長

日野市立潤徳小学校校長 竹山 弘志

今年も日野市環境緑化協会が主催している作文集「緑のまち」に、日野市内の四年生と六年生の二百三十名余りが作文とイラストを寄せてくれました。私は、審査委員の一人として作文を読ませていただき、児童の皆さんが日野市の丘陵や雑木林、公園、河川、用水、そこを流れる水や風の音などに関心を寄せ、深い愛着をもっていることを強く感じました。

桜、浅川、多摩川・川遊び、公園、アユまつりなどの言葉が数多く見られ、自然と豊かにかかわりながら生活している子供たちの様子が目に浮かぶようでした。さらに、ごみ問題、水田の減少、マナー違反、ポイ捨て、クリン作戦、ゴミ拾い、ボランティアなどの言葉も多く見られました。これらの言葉から、地域清掃などの活動に積極的に参加することや、自分なりの方法で日野市の自然を守っていくこととする児童の皆さんの意気込みを感じました。

さて、今年の日野用水の掘削開始から、四百五十周年の年だそうです。新選組のふるさと歴史館や郷土資料館等で日野用水の特別展

が行われ、日野用水の歴史や用水と人々とのかわりなどを学ばれた方も多いいと思います。現在でも、日野用水が多くの子供たちに豊かな体験をもたらし、自然界への興味や関心、郷土愛などを育んでいることを作文から読み取ることができました。また、先人が創り上げた宝物を、未来に繋げていこうとする意志を多くの子供がもっていることも知ることができました。

この作文集「緑のまち」には、先人が築いた「緑と清流のまち」という宝物の中で、これからも心豊かに生活したいという子供たちの願いと希望が満ちているように思います。

## 今熊公園

「自分たちの公園は自分たちでキレイにしましょう」と平成2年から地元の自治会の有志のメンバーが集まってお掃除を

して下さっているこの公園は、訪れた時の第一印象が「近所にこんな公園があったらいいな」でした。

夏場は、落葉樹が作り出す心地よい日影で一休み、雑草をこまめに取り除いた日向のスペースは、子ども達が安心して駆け回る最近では数少ない場所となっていました。



取材のため公園で待っていると、たくさんのお掃除用具を抱えいらしゃったみなさんに、ご挨拶をする間もなく、テキパキと清掃を始められ、あまりの手際の良さにこちらがオロオロしてしまう程でした。

活動の最後にはキレイになった公園でのティータイム。ちょっとした悩みを相談したり、情報交換をしたりと一番楽しい時間なのかもしれませんね。

地域の人たちの長い間の手間と愛情に応える様に進化を続けていく。そんな生きた公園、それが今熊公園でした。



## 取材日記

今回初めて公園の清掃活動の取材に行かせていただきました。みなさん本当に、熱心で手際が良くて、まさしく「お邪魔」になってしまい、申し訳ありませんでした。今熊公園での事です。清掃活動中に、公園の入り口でこちらを見ている少女が二人・・・中で遊びたいのかな？と思っていると、実は近所に住んでいて、活動日に遊びに来たのがきっかけで、手伝ってくれるようになったそうなのです。ゴミを拾ったり、落葉の季節には活動日以外にも落ち葉を集めておいてくれるとか！きっと生き生きと楽しそうに活動されるみなさんを見ているうちに、自然とやってみたくなったのでしょね。私もそんな風に見習われる大人にならなきゃ！と反省と感動の初取材となりました。

## 四中生徒の職場体験学習

日野第四中学校の生徒3名が今年も職場体験学習で環境緑化協会にやってきました。日程は9月14日・15日の二日間で、公園清掃やプランターへの菊苗の植え付け、腐葉土の袋詰めなど、普段はなかなか体験できない作業を行いました。特に公園清掃では、ゴミが無造作に捨てられていること、ゴミの量が非常に多いことに驚き、こんなことは絶対にしてはいけないということに改めて認識したようでした。また、きれいな公園を利用できるのは、日頃の清掃活動をしている人たちがいるからであるという感謝の意を持ったようでした。



## 下田つつじ公園

ハナミズキやツツジなどの花木も多く、カラフルな遊具や広場も充実した大人から子ども達にまで人気の公園です。

# 公

ここは、もう十年以上前から社会福祉事業を行っている団体とその利用者の方達とで清掃活動を行っています。

雑草がほとんどない広場で、お掃除の必要がないくらいキレイ！



# 園

# 紹

と思うのですが、植え込みのふちに隠れた落ち葉や、投げ入れられた小さなゴミなどを丁寧に拾い集めていて、小さな努力の積み重ねがきれいな公園を作るのだと改めて感じ入りました。

# 介

活動の最中、公園に訪れた人に「お疲れさま！」「ありがとう！」と声を掛けられると、みなさんとても喜ばれると施設の職員の方が話して下さいました。

感謝の気持ちを言葉にできる人、またその言葉を活動の糧にできる人。そんな人と人との交流というもう一つの花が咲く、この公園がいつまでもそういう場所であって欲しいと思いました。

## 編集後記

日野市には、160を超える大小さまざまな公園（供用開始後）があります。それぞれの公園名を見ると、地名や地形、自然環境や昔の情景などの由来があり、ちょっと変わった呼び方をするとところもあります。普段利用している近所の公園名は気になりませんが、あまり縁のない公園については結構興味をわくものです。また、公園名を通して歴史を紐解くと、市内外の意外な土地とのつながりが分かるなど、新しい発見があります。その意味で公園というのは、遊びや憩いの場としての活用だけでなく、奥の深い場所と言えるのではないのでしょうか。【T・S】